

北口和皇議員、全会派一致の辞職勧告決議に無反省な質問！

「不当要求行為等防止対策会議」等を攻撃するような質問は、予算決算委員会の審議に全くなじみません

自分の行為を「不当要求」と断定した対策会議に言いがかり

「機関誌の購読状況」を聞くことは憲法に反します

「不当要求行為等防止対策会議」に提出された証拠の関係で、「会話の無断録音」や「使用の機器が私物」は問題との質問をしました。

員が公務として話した内容の録音を不当要求行為等の防止に向け公務として利用することに問題はない。」と答弁しました。

担当局は、「議員と職員間等の会話録音は、公務において議員の要望や意見を伺うにあたり、記録の徹底や正確性の確保・適正な対応のため、ICレコーダーを使用する。議員と職

これは、自分の行為を「不当要求」と断定した「不当要求行為等防止対策会議」への言いがかりです。



「厳しい決定となるよう意見を述べる委員は外すべき」

自らの違反を問う「政治倫理審査会」の審議内容に介入する発言

北口議員は、自らの違反を審議している「政治倫理審査会」について、「非公開のはずの政治倫理審査会の審査内容が地元紙に報道され、記事の内容は審査会の結論を厳しいものにするよう誘導するようなものだった。誰かが情報操作をしている疑いが極めて高い。審査会には地元紙の

OBが委員として入っている。漏えい元と決めつけるわけではないが、地元紙報道と内容が合致するように厳しい決定となるよう意見を述べ誘導するのであれば、中立性を保つためにも審査からこの委員をはずすべき」と述べました。政治倫理審査会の審議に不当に介入するような発言です。

北口議員は、突然、庁舎内での「赤旗新聞・公明新聞」を優遇し、配達に問題があるかのような質問をしました。これに対して財政局長は、これまで何も問題は起きていないと言いながら、「職員の購読者には、配達先が変更できないかお願いしたいと考えております」と答弁しました。党市議団と党地区委員会は、ただちに財政局長にこの答弁の削除または訂正を求めました。その結果、「実際

に配達先の変更をお願いすることはできない」「セキュリティに配慮した配布であれば、個人の契約なので職場に配達しても問題ない」ということを確認しました。

「しんぶん赤旗」は、故・井上栄次議員の時代から、半世紀にわたり、何の問題もなく、配達・集金がなされ、多くの職員に愛読されてきました。引き続き、セキュリティに十分配慮してまいります。

(控え室から)
保育園のキャンプに参加
なすまどか

早いもので長女は保育園の年長となりました。先日は、2泊3日のキャンプがあり、父親のみ参加が許されていることから、私も参加してきました。手作りの弓矢で遊ぶ子、大きなブランコに揺られるしやく子、魚釣りに挑戦する子、夜にはドラム缶風呂を沸かし、子どもたちは気持ちよさそうに入ります。園とも協力しながら、遊び道具の準備やまき割りや火おこしなど、キャンプの裏方に回ります。夜には、親と別のテントで、子どもたちだけで過ごすことになりませんが、こうした試練を一つ一つ乗り越え、成長する姿を目の当たりにできたことを嬉しく思います。

印象的だったのは、それぞれの父親が、自分の子の保護者という立場ではなく、全ての子どもの成長のために力を合わせようと、目を配り、対応していたことです。子どもの成長や子育てについて、父親同士語り、一緒に行動することの大切さを改めて学んだキャンプでした。



日本共産党 市議会だより
発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか 山部洋史

NO. 1015
2016年9月25日号
電話 328-2656
FAX 359-5047

✉: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
ホームページ: http://www.jcp-kumamoto.com/

□□□□□□□□□□ 1 - 1□□□



被災者への聞き取り調査をもとに 仮設住宅の住環境改善を要望しました

9月16日、日本共産党熊本市議団と同地区委員会は、仮設住宅に入居されている被災者への聞き取りをもとに、熊本市に対して仮設住宅の住環境改善を求め、要望を行いました。



倉庫の設置、ほこり対策、知り合いがおらず心細い…など多くの要望

要請では、

- ・ 倉庫やコンテナを設置してほしい。
- ・ ひさしが短く、雨が降りこむので対策を取ってほしい。
- ・ 車の出入りが多く、ほこりがひどく、対策を取ってほしい。
- ・ 虫さされがひどく、駆除を行ってほしい。
- ・ 知り合いがおらず、心細い。
- ・ 部屋が狭く、家財道具が置けない。
- ・ 部屋の前がごみ置き場となって

おり、改善してほしい。

- ・ 玄関のかぎがかかりにくい。
- ・ 敷地内が陥没し、危険であるため対策を取ってほしい。
- ・ 集会場の整備を急いでほしい。
- ・ 花壇の設置や蛇口の設置などの要望が出されました。

対応した職員からは、「コミュニティーの形成などのために、社会福祉協議会とも連携し、日常的に人を配置したい。」「仮設住宅の基準は県によって定められているので、改善が図られるよう市も要望したい。」「害虫駆除や敷地の陥没については、早急に対応したい」などの、回答がありました。

引き続き被災者の声をつかみ、市や県に要望を届けたいと思います。



立野ダム建設「問題なし」は、誤り！

ダム推進の方針を変えるべきと、市長へ抗議文を提出

9月16日、「立野ダムによらない白川の治水を考える熊本市議の会」はじめ3団体は、大西市長が国土交通省への要望で、立野ダム建設を着実に進めるよう求めたことに対して抗議文を提出しました。

市は、国に対しては「ダム推進」を要望する一方で、今回の申し入れに対しては、あたかも「国が進めている事業だから」抗議文の要請にきちんと回答しようとしないうる責任な答弁に終始しました。

公正な検証と住民への説明責任を！

抗議文では、以下の3点を要請しました。

1. 立野ダム建設を即時に中止にするよう、国土交通省に求めること。

2. 住民も含めた「立野ダム建設に係る技術委員会」を結成し、ダム建設予定地の十分な再調査・再検討を国に求めること。

3. ダム建設に関して住民に直接答える説明会を開くなど、説明責任をきちんと果たすよ

う、国に求めること。

市は、住民に開かれた場での説明を国にしっかりと求めていくこととともに、無責任なダム推進の方針は撤回すべきです。

